

# やっときゃよかった、やってよかった防災式

もし明日、大きな災害に襲われると判ったなら「あなたならどうする？」をテーマに考えていきます。

## ◆シリーズ「あなたならどうする？」地震編パート3

大きな地震が明日襲ってくると判ったあなたはどのような行動をとるのでしょうか？

多くの場合は、情報を入手しようと考え、「情報を取りに行くグループ」と「情報が来るのを待つグループ」の大きく2つのグループに分類されます。

【情報を取りに行くグループ】は、自分からどのようにすれば、緊急情報を入手できるかを模索します。ただし、限られた時間の中なので自分の身近にあるもので活用しようとするでしょう。さて、どのようなものがあるのか考えてみます。

### ●携帯電話やスマホ（無料）

- ・ドコモ：緊急速報エリアメール
- ・au：緊急速報メール
- ・SoftBank：緊急速報メール



### ●スマホなら緊急速報メールとアプリ

- ・防災速報 ～地震、豪雨、津波を通知～（無料）
- ・ゆれくるコール（無料）
- ・緊急地震速報アプリ 『なまず速報 β』他（無料）

これらはタブレットにインストール可能

### ●パソコンに緊急地震速報（無料有料）

- ・緊急地震速報 by Extension（無料）
- ・SignalNow Express（無料）
- ・EarthquakeNotifier（無料）
- ・The Last 10-Second（有料）
- ・P2P 地震情報（無料）



ただし、パソコンの電源が入っていなければ、情報の入手はできません。

### ●テレビやラジオ

- ・緊急地震速報の放送

ただし、テレビ・ラジオの電源は自動では入りません。これまでの地震情報と同様に、テレビなどを視聴している際に、スーパーとして文字や音声を番組に重ねて放送されます。

【確認】情報を取りに行くグループの場合は、それぞれの機器が情報入手用のソフトやアプリが対応していることと、電源が入っていなければ全く動きません。携帯電話やスマホは、購入時に緊急速報（地域メール）を登録していない人も多く、その時になって設定方法が判らないことがあるので、今のうちに確認をしておきましょう。また、ラジオは携帯可能ですが、24時間電池が持つ携帯ラジオは少ないので必要ときに電池切れにならないよう注意が必要です。テレビも電池で動くものもありますが、今日の家庭用テレビ

は大型化が進み、持ち運びができないものがほとんどで、テレビの前にいなければ情報を入手できないという難点があります。でも現在はワンセグ放送を受信できる携帯電話、スマホ、カーナビ、小型テレビもあります。しかし、電池の容量に不安があり、24時間つけっぱなしは難しいのが実情。情報を取りに行くグループは、発災までの電源確保と電池の容量にも注意しましょう。

【情報が来るのを待つグループ】は、「情報はきっとどこからか流れるはずだ！」と考えている人が多いのが特徴です。では、どのようなところからどのように情報がやってくるのか考えてみます。

### ●行政の防災行政無線

- ・防災行政無線で放送している自治体もありますが、残念ながら、まだまだ防災行政無線を設置していない市町村も多いので確認しておきましょう。

※加古川市は防災行政無線の未整備 警報注意! 地区です。注意しましょう!

### ●商業施設

- ・大型施設やデパート等の集客施設では館内放送する場合があります



### ●ひと伝え

- ・地震が来る前に多くの人が騒ぎ出すだろうと考える
- 【確認】情報が来るのを待つグループは、携帯電話、スマホ、パソコン、タブレットから緊急情報が流れてくることを大前提にしている場合が多く、ひとつの情報源が見つければ、安心してしまう人が多いのが特徴です。特に公の機関等からは絶対に情報の伝達があると信じ、情報を待ってしまう傾向にあります。

### ◎防災会からの提案

「情報を取りに行くグループ」と「情報が来るのを待つグループ」どちらのグループにも言えることは、緊急情報を入手したら、即、**命を守る構えの行動**を決めておくことが大切です。自分の命や大切な人の命を他人に丸投げするような対策はやめましょう!

「でも、緊急地震速報を入手したら、いつまで身を守ればいいの？」という疑問を持つ人がいます。震源から遠い場所では、緊急地震速報を入手してから強い揺れが届くまでに時間がかかるので、揺れがこなくても入手後1分程度は、身を守り警戒しましょう。また、地震による強い揺れは、長くても1分程度なので、その間は身を守る体勢をとり続け、揺れが収まってから落ち着いて行動するようにしましょう。でも残念ながら現在は、直下型地震には間に合わず揺れたあとに通知されます。そして、もし揺れに襲われることがなければ「笑ってすませる!」こんな防災も良いのでは?

**「命を守る情報は、他人任せにせず、自分から情報を取りに行く心掛けを!そして、やるべきことは命を守る構えをする!」これが今回の「防災式」です。**